

平成21年度 第1回地域包括支援センター専門委員会 会議要旨

1 開催日時

平成21年7月30日(木) 18:30~20:00

2 開催場所

北九州市役所 91会議室

3 出席者等

(1) 委員

中村委員長、小川委員、小金丸委員、白木委員、橋元委員、渡邊委員
欠席者 今村委員、河原委員、舟谷委員

(2) 事務局

介護保険・健康づくり担当部長、いのちをつなぐネットワーク推進課長、介護保険課長、
健康推進課長ほか

4 会議内容

(1) 議題

- ア 委員及び副委員長の指名について
- イ 地域包括支援センター専門委員会の設置趣旨について
- ウ 地域包括支援センターの運営状況と課題について
- エ 専門委員会の今後の進め方について

5 議事の概要

(1) 議題

- ア 専門委員会委員及び副委員長の指名について
各委員及び小川副委員長の指名について、意義なく承認を得た。
- イ 地域包括支援センター専門委員会の設置趣旨について
設置趣旨及び具体的所掌事務について説明を受けた。また、前年の検討事項について、
橋元前委員長より報告を受けた。
(委員意見)
 - ・平成19・20年度は、運営の評価としての自己点検、運営方針策定の仕組み、職員の質の向上について検討を行った。
 - ・今後の課題として、第三者評価にあり方が残されている。
 - ・評価について、地域包括支援センター職員はどう感じているのか。
- ウ 地域包括支援センターの運営状況と課題について
平成20年度相談件数や予防給付ケアプラン作成状況等について、事務局より報告を受けた。

(委員意見)

- ・「訪問」「電話」による相談の増加は、センターの場所の不便さも原因ではないか。
- ・数値目標をつくり、評価をして職員に自信をもたせるというやり方もあるのではないか。
- ・センターが担当している業務の種類が多い。業務の精査をすべきでは。
- ・現状の課題として、人員体制や人員異動のあり方、地域との連携のあり方、職員の質の確保などがあるのではないか。

エ 委員会の今後の進め方について

今後の評価方法を検討することとし、第三者評価のあり方については、平成 19・20 年度に策定した自己点検の指標を踏まえ、過去の実態調査の結果や他都市の取り組みなどを参考に検討していくこととした。

(委員意見)

- ・直営であることを前提とした評価が必要である。
- ・設立当初からは状況が変化してきており、地域包括の役割や仕組み自体の見直しが必要ではないか。
- ・24ヶ所の地域性の問題もあるが、ワンストップ機能の平準化も考えなければならない。
- ・ワーキンググループによる集中した議論が必要ではないか。
- ・アンケート等により、関係者から幅広く意見を聴くことも必要ではないか。
- ・評価だけで終わるのではなく、職員の質の向上、市民サービスの向上に繋げていかなければならない。